

Activity Report

奈良YMCA活動報告 2019—2020



YMCA ブランド

日本のYMCAは1880年に東京で始まり、この間、多様な分野でパイオニアとなる働きを全国各地で展開してきました。未来に視線をあげ、YMCAがこれからも必要とされ、多くの方々には選ばれる存在となるために、私たちは今、決意をもってYMCAブランドコンセプトを取り決め、その旗印として新しいロゴ・スローガンを掲げます。新しいロゴとスローガンは2017年10月から社会に向けて発信をしています。



Vision

— YMCAが実現したい世の中の姿 —

互いを認め合い、高め合う「ポジティブネット」のある豊かな社会を創る。「ポジティブネット」Positive Netは、日本のYMCAが作った造語で、互いの存在や個性を認め合い、高め合うことのできる、善意や前向きな気持ちによってつながるネットワークのこと。課題の多い社会のなかで、それは、生きるためのひとつの選択肢となっていく。私たち日本のYMCAは、グローバルなネットワーク基盤を活かしてポジティブネットを広げ、希望あるより豊かな社会を創ります。

Value

— YMCAが提供を約束する価値 —

したい何かが見つかり、誰かとつながる。私ができる、かけがえない場所。

Personality

— YMCAが備えているべき個性・らしさ —

心をひらき、わかち合う。前向きで、まわりを惹きつける魅力を持つ。



みつかる。
つながる。
よくなっていく。



YMCAブランドロゴ

鳥が飛び立とうとする瞬間の姿を、アルファベットのYが想起される形に重ねあわせています。右上の赤い逆三角形には、YMCA正章に記された「全人」の精神と、YMCAが約束するブランド価値「みつかる。つながる。よくなる。」の両方が込められています。曲線と赤い色によって、生命の息づかい(生命感)と、希望ある豊かな社会を実現して行こうというYMCAのポジティブな姿勢を示しています。愛称"ポジティブY"

YMCAブランドスローガン

ブランドスローガンは、YMCAのブランドコンセプトに込めたエッセンスを端的に伝えるメッセージです。YMCAが定めたブランドコンセプト(上記)のバリュー(価値)、「みつかる。つながる。よくなる。」の結びを、「よくなっていく。」としました。出会いとつながりから生まれる「よくなる」チカラが連鎖して、一人ひとりが、そして地域が、社会が「よくなっていく」、そのような願いをこめています。

YMCAブランドステートメント

ひとりがよくなると世界はきっとこう変わる。ひとりが「よくなる」と、どんなコトが起きるだろう。ひとりが「よくなる」と、その人と出会った誰かがうれしくなる。つまり、その人もきっと「よくなる。」そして「よくなる」の連鎖は社会や世界をよりよくなっていくチカラになると思うのです。その人と出会った誰かが「よくなる。」そんな出会いとつながりをYMCAはこれからも大切にしたいと考えています。「よくなる」の連鎖はやがて社会や世界を変えていくチカラになっていく。そしてきっと平和を形にしていける原動力となっていく。

奈良YMCAの使命

奈良YMCAにどう私たちは、日本YMCA基本原則の精神に基づき、イエス・キリストによって示された愛と奉仕のわざを実践し、青少年の精神・知性・身体の調和のとれた全人的成長を願うとともに、平和で民主的な社会の実現をめざします。

- 私たちは、
1. 人々が互いに尊重し、協力しあって、ともに生きる社会の実現につとめます。
 2. すべての人々が生涯にわたる学びをとおして、自己の成長をはかれるよう、学習の場と機会を提供します。
 3. ボランティア精神を育てる場とネットワークを創り出し、地域と国際社会に貢献します。
 4. すべての生命をいづくしむことの大切さを認識し、人と自然が共生できる地球環境を守ります。
 5. 世界の人々との交流をはかり、難民や発展途上の困難さや痛みを分かち合い、正義と公正社会の実現に努力します。
 6. アジアにおける日本の歴史的課題を学びつつ、世界平和実現のために祈り、行動します。
- 1998年3月31日制定 奈良YMCA基本原則検討委員会

奈良YMCAの沿革

- 1962年 奈良YMCAを発足し、奈良市角振町にて地域の青少年を対象としたプログラムを始める
- 1967年 財団法人設立の認可を受け登記する
- 1970年 奈良市西大寺国見町に青少年センターを建設する
- 1977年 創立15周年記念事業として花芝センターを開所する
- 1980年 別館(芸術文化センター)を建設・開所する
- 1982年 創立20周年記念事業としてスイミングプールが建設される
- 1984年 YMCA平和の日(11月第2日曜日)を覚え、第1回目の国際協力街頭募金を実施
- 1985年 世界の平和を願い、第1回反核・平和の集いを開催
- 1994年 韓国・慶州YMCAとパートナーシップを締結する
- 1994年 フリースクールを開校する
- 1995年 阪神淡路大震災救援ボランティアを募集、延べ約1,800名のボランティアが救援活動を実施
- 1996年 国際・地域奉仕センターを開設する
- 1996年 秋篠町に新サッカーグラウンドをオープンする
- 1997年 発達障がい児・者サポートクラスを開校する
- 1998年 「奈良YMCAの使命」を制定する
- 1998年 中国・西安YMCAとパートナーシップを締結する
- 2004年 国際協力機構(JICA)より青年招へい事業・青年研修事業を受託する
- 2012年 5月1日、奈良YMCA創立50周年を迎え記念礼拝を開催
- 2012年 創立50周年記念事業として第1回奈良YMCA-インターナショナルチャリティーランを開催
- 2013年 奈良県より公益財団法人として認定を受け、公益財団法人奈良YMCAと移行する
- 2014年 奈良市より社会福祉法人の認可を受け、社会福祉法人奈良YMCA福祉会を設立する
- 2015年 YMCAあきしの保育園を開園(8月)
- 2016年 YMCA西大寺南保育園開園(4月)
- 2017年 創立55周年記念「PRAYIN奈良」(8月) フィリピンカガヤンバレーランゲージ締結(7月)
- 2018年 YMCAなら保育園開園(4月)、YMCAあきしの保育園幼保連携型認定こども園スタート(4月)
- 2019年 第4回コースアッセンブリー・第20回アジア太平洋YMCA大会(柴谷紗良:コース・三枝総主事参加)

奈良YMCAの誕生は… ボランティアの熱い志から 始まりました



奈良YMCAの歴史は、12年間にわたる奈良ワイズメンズクラブの「百世の古都奈良にYMCAを設立しよう」という祈りと願い、そしてたゆまぬ努力によって、設立に向けての歩みを始めました。そして1962年5月1日、奈良市角振町に奈良YMCAは誕生しました。設立当時から、地域の少年少女を対象とした子ども会、映画会、中学生英会話クラブ、国際親善クラブや、青年のための教養プログラムとして生け花、英会話、ガイド養成など多彩なプログラムが実施され、会員数は234名でした。発足当時は様々な困難や課題もありましたが、そんな中であっても、ボランティアリーダーの養成、地域奉仕活動をYMCAの使命として取り組みました。奈良市少年院への訪問活動、肢体不自由児クリスマス会を行いました。まさに、「キリストの愛と奉仕の業」を社会に向けて具体的に実践して参りました。

[ワイズメンズクラブ国際協会とは]

●ワイズメンズクラブは、1922年、YMCAの活動を支援する人々による奉仕団体として米国にて誕生し、世界各国で様々な社会貢献活動を展開しています。

- 奈良ワイズメンズクラブへのお問い合わせ
会長 内田勝久 uchidakaikei@gmail.com



詳しくはこちらをご覧ください

奈良ワイズメンズクラブ 🔍 検索

<http://uchidakaikei.com/narawaizu/index.htm>

2019年度 年間基本聖句

恵みの業をもたらず種を蒔け 新しい土地を耕せ。

旧約聖書 ホセア書 10章 12節

1年を振り返って

奈良YMCAは、1962年に奈良ワイズメンズクラブのチャーターメンバーの皆様「奈良の地にYMCAを！」との熱き情熱により、その“生命(いのち)の種”を蒔いていただき、1970年に現在の活動地“西大寺”の地を与えられました。その長い月日には社会の大きな波の中にあって、社会動向や、人々のニーズと心に寄り添い今日の“姿”を形作ることができました。

その中で、これまで重ねてきたノウハウや経験を活かし全事業の発展に寄与してまいりました。

日本国内においては、“2020東京オリンピック(第32回)”のプレイヤーでもあり、あの第18回東京オリンピック(1964年)の前後に訪れた“オリンピック景気(高度経済成長)”の再来を期待する中、奈良YMCAでもこの追い風に乗れ、新たな奈良YMCA創生へ向けて“奈良YMCA施設検討プロジェクト会”を創設し“次世代へのレガシイそして継承”を目指し、その基盤を作る為に必要な事案の検証を含め、より具体的なアクションを起こすことができました。

その礎にある中で、公益財団では全事業が総力を上げ、“将来に連なる宝(人・物・お金)”を蓄積すべく、取組んで参りましたが、その年度を総じて次年度への最大の備えを構築すべき2月下旬より、地球上のこれまで誰も経験値のない程に感染拡大した「新型コロナウイルス感染症」の影響を受けたことは、予期せぬ事態とは言え、その奈良YMCAの将来構想を描く重要な局面と重なったことに対しては、“残念”という言葉より、これは神様が、私たちにあえて与えられた“試練”だと受け止めその逆境から“まずは最初の一步から”と目前にある課題と向き合い“ポジティブ・シンキング(前向き思考)”で歩みを進めています。その渦中、現状においても会員・保護者の皆さまに対する最善なる手立てを、そこに従事する全ての者が叡智を結集し遂行していることをここにご報告させていただきます。

社会福祉法人におきましては、“幼保連携型認定こども園YMCAあきしの保育園・YMCAなら保育園・YMCA西大寺南保育園”の3園も開園以来、運営スタッフの皆さんの献身的な“愛ある保育”は、地域社会での評価も高まり、安定した運営ができ、今後さらなる期待ができる事業へと成長を遂げようとしています。また、前段の記述した「新型コロナウイルス感染症拡大」の中、3密(密閉、密集、密接)を避けることが難しい環境の中、日々園児・保護者の方々に寄り添い保育を継続されました。

今世界にいる人々は、「新型コロナウイルスとの新たな歩み」の選択を迫られています。きっとこれまでの日常とは異なる「新しい生活様式」とその中であって大きく新たに容れる社会にどのように“対峙”していくのか!奈良YMCAもその渦中にあり、このピンチをチャンスに転換できるよう今後も邁進していく所存でございます。

では、この年度奈良YMCAをお支えいただきました会員並びにボランティアの皆様へ感謝の意を込めさせていただきます。2019年度の報告をさせていただきます。



会長 林 秀彦



常議員会議長 内田 勝久



総主事 三枝 隆

青少年センター



青少年センター

未就園児クラスは、2歳児の総合教育クラスとして実施しました。幼稚園に入園する前に保護者の方と離れ、集団生活の中で製作や歌、楽器やリズム体操、体育活動ではマットや鉄棒・跳び箱等を取り入れたサーキットを行い、毎回笑顔に満ち溢れるクラスが実施されました。幼児基礎体育クラスは、跳び箱、鉄棒、マット、トランポリン、ボール、ゲーム遊びを中心にプログラムを行い、子どもたちのチャレンジする気持ちを大切に活気あるクラスを実施しました。小学生基礎体育クラスは、基礎体力を身につけ、身体を動かすことが好きになることを目的に実施しました。器具だけではなく縄跳びやボールゲームなどを行い、体を動かしながら協調性や積極性を養うことができるようなプログラムを取り入れました。ユーススポーツコースは、サッカー、器械体操、新体操、バスケットボール、剣道など、初心者コースから、サッカー、新体操はより競技力を向上させるコースも設定し、ニーズに応じたプログラムを提供することができました。全てのクラスでひとりひとりにあった指導やコミュニケーションを大切にそれぞれが各種目を楽しみながら技術を向上していくことができました。

2019 年度の歩み

青少年センター
 5月22日(水) 未就クラスハイキング(平城宮跡)
 5月29日(水) 夏季プログラム会員受付開始
 6月 5日(水) 夏季プログラム一般受付開始
 7月14日(日) 野外活動クラブ合同例会海洋プロ体験(大阪府立海洋C)
 7月23日(火) 夏季プログラム開始
 8月29日(木) 西大寺幼サッカースクール・チアダンススクール
 9月21日(土)～23日(月) 全国リーダー研修会(東京YMCA山中湖センター)
 10月17日(木)・11月1日(金) 未就園児いもほり
 10月31日(木) 冬季春季プログラム会員受付開始
 11月 7日(木) 冬季春季プログラム一般受付開始
 12月13日(金)～12月16日(月) 関西合同実技リポートレ
 12月21日(土)～24日(火) 体操集中コース
 12月25日(水)～29日(日) 志賀高原スキーキャンプ
 1月25日(土)～26日(日) 野外活動例會雪遊び体験(ハチ高原)
 2月 1日(土)～ 2日(日) 幼児ゆきん子キャンプ
 2月22日(土)～24日(月) ハチ高原わくわくスキーキャンプ
 3月15日(日) 奈良YMCAリーダー卒業式
 3月28日(土)～31日(火) 体操集中コース
 3月29日(日)～31日(火) 春サッカー合宿(都祁)
 4月 1日(水) 器械体操クラス発表会

野外活動は今年度も引き続き充足率が高く、野外フィールドで貴重な本物体験を提供することが出来ました。夏は海でデイキャンプ、冬は雪山で雪遊びを1泊2日で実施し、子どもたちの逞しい成長を促しました。大学生のボランティアリーダー会及び研究生会はひとりひとりが責任感を持ち、充実したリーダー活動ができました。それぞれの活動フィールドで、“みつかる つながる よくなっていく”のスローガンのもとに子どもたちの心を育みつつ、自身の人格の幅を広げるための場の提供が出来ました。

野外特別事業

昨年引き続き、夏季・冬季プログラムとも、キャンプ活動(自然学校)は、奈良県教育委員会の後援を頂き、奈良市と大和郡山市・天理市の全幼稚園・小学校でパンフレットを配布させて頂き、キャンプ活動の重要性をアピールさせて頂くことが出来ました。夏季プログラムは、海のキャンプ1コース、山のキャンプ2コース、幼児キャンプ1コース、スポーツキャンプ・スポーツ大会14コース、集中クラス6コースを設定し、好評を得ました。冬季・春季プログラムは、スキーキャンプ2コース、

フリースクール(学院高校)
 4月 9日(火) YMCA学院高校入学礼拝
 4月16日(火) いちご狩り
 5月22日(水) 春のハイキング(若草山)
 6月18日(火) 社会見学(阿倍野防災センター)
 7月 1日(月) 流しそらめん
 7月 3日(水)～18日(木) 前期スクーリング(YMCA学院高校大阪本校)
 8月24日(土) 卒業生&スクール生交流会
 9月14日(土)～16日(月) 秋キャンプ(クリエート月ヶ瀬)
 9月18日(水) ジュニア県展作品鑑賞会
 9月24日(火) スクール秋の大運動会
 10月30日(水) ハロウィンパーティー
 11月 3日(日) バンド演奏(大安寺国際緑日)
 11月10日(日) 奈良YMCA国際協力街頭募金
 11月19日(火) ボウリング
 12月16日(月) クリスマスコンサート(やまと郡山城ホール)
 1月 7日(火)～22日(水) 後期スクーリング(YMCA学院高校大阪本校)
 1月18日(土) 心のフリースクール25周年記念講演(なら100年会館)
 2月15日(土) もちつき・クッキング
 2月17日(月) アイススケート(浪速アイススケート場)
 3月21日(土) 卒業生を送る会「あんたが主役」

参加者数 12名(内YMCA学院高校生 5名)



ス、幼児キャンプ1コース、集中クラス8コースを設定し実施致しました。長期休み中の幼稚園や学校・家庭ではあじわう事のできない経験を大自然の中で体験し、子どもたちの自信に満ち溢れた表情がとても輝いていました。

フリースクール

日常は例年通り午前学習、午後体育を行いました。他者を意識しながらスクール生がそれぞれ新しいことにチャレンジした年でした。バンド演奏や劇といった強い緊張感でのイベントでは、経験のあるスクール生が初めて演奏するスクール生に対してやさしくアドバイスを投げかけるなど、こころに寄り添った関わりもよくみられました。またそれらの活動を通して、全員で一つのを創り上げる喜びを学びました。学習も個々のペースで行いました。YMCA 学院高校の生徒は内部から1名、外部から3名が新たに入学し、それぞれ学業に励みました。進学は、4名が高校へ進みました。フリースクールでの人との関わりの中で、自分だけでなく他者とも認め合うことで、安定した人間関係を構築することができるなど、スクール全体として実り多き1年となりました。

青少年センター

内 容	参加者数	活動日
幼児クラス (年間)	185名	月～金
少年体育クラス (年間)	45名	月・火・土
ユーススポーツクラス (年間)	359名	火～日
野外活動クラブ (年間)	58名	土・日・祝
知的障がい児体育クラス (年間)	4名	月

野外特別事業

内 容	参加者数	活動日
夏季キャンプ	188名	8月
夏季体育集中クラス	117名	7月・8月
冬季キャンプ	127名	12月・2月
冬季・春季体育集中クラス	104名	12月・3月

フリースクール

内 容	参加者数	活動日
フリースクール(内、学院高等学院生)	12名(5名)	月・火・水・金・土

スイミング・ウエルネス

レギュラーコース

2019年度は、指導者不足に苦しみました。会員数は右肩上がりに増加していますが、指導者の確保ができなかった為、キャンセル待ちのクラスや、振替が取得できないという状況が発生しています。この問題を解決するには、一人でも多くの指導者を確保することですが、募集をかけても応募がなく厳しい状況です。例年通り、近隣小学校への出張水泳教室も実施し、地域貢献にも力を注ぎました。全国YMCA協同プログラムとして実施している、水上安全の日にも、「着衣水泳教室」「25m泳ごう教室」を無料で実施し、いのちの大切さを啓蒙しました。

短期集中

小学生の2学期の開始が早まった事で、夏休み短期水泳の人数が昨年より約100名減となりました。また、春休み短期水泳教室は、コロナウイルスの影響も受け、思うように人数を伸ばすことができませんでした。今後は、夏休み短期水泳のクラスラインの見直しと、冬休み、春休みの短期水泳のプログラムをしっかりと充実したものを提供できるように努めていきます。

ウエルネス

ここ数年、会員数が減少傾向にあるウエルネスですが、中でも一人一人に寄り添い、YMCAが居場所となるように取り組んでいきます。会員一人一人の心と体の健康をサポートできるようなプログラム展開とコミュニケーションを計っていきます。新たなサービス、プログラムを展開していき、収入増に繋げていきます。



2019 年度の歩み

5月 5日(日) 奈良県ジュニア春季水泳記録会
 6月16日(日) 水の安全キャンペーン スイミングスクール
 6月29日(土)～30日(日) 奈良県選手権水泳競技大会兼奈良県ジュニア選手権水泳競技大会兼全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会予選会
 7月21日(日) 奈良県ジュニア夏季水泳記録会
 8月11日(日)～12日(月) ガリバーキャンプ ガリバー青少年旅行村
 8月16日(金)～17日(土) 全国YMCA水泳大会
 9月23日(月) 秋の特別プログラム 竹の水鉄砲作り 友愛の丘
 11月 3日(日) 奈良県ジュニア秋季水泳記録会
 11月17日(日) YMCA水泳交歓会 奈良YMCA
 11月23日(土) プールチャリティーデー
 12月 1日(日) クリスマス会 スイミングスクール
 1月12日(日) 奈良県ジュニア新春水泳記録会
 2月 2日(日) 中日本水泳大会 神戸YMCA
 2月22日(土)～23日(日) 奈良県ジュニア選手権水泳競技大会兼 全国JOCジュニアオリンピック春季水泳競技大会予選会

地域奉仕事業 職場体験

6月10日(月)11日(火)12日(水) 平城東中学職場体験
 10月24日(木)25日(金)28日(月)29日(火)30日(水) 伏見中学職場体験
 11月 6日(水) 7日(木) 8日(金) 三笠中学職場体験
 11月 6日(水) 7日(木) 8日(金) 富雄南中学職場体験

水の安全キャンペーン

6月～8月 近隣幼稚園、保育園、小学校にYMCA水上安全ハンドブックを配布し、啓蒙活動をした。

学校関係指導

右京小学校水泳指導
 近畿大学附属小学校水泳指導(年1回)
 近畿大学附属幼稚園水泳指導(体験)

スイミングレギュラーコース

内 容	参加者数	活動日
幼児・小学生水泳クラス (年間)	897名	月～日
障がい児水泳クラス (年間)	3名	日

スイミング短期集中・野外

内 容	参加者数	活動日
夏休み水泳教室	530名	7月・8月
冬休み水泳教室	175名	12月
春休み水泳教室	180名	3月

ウエルネス

内 容	参加者数	活動日
ウエルネスコース (年間)	198名	月～日
スクールコース (年間)	39名	月～土

芸術文化センター

【音楽院】

全国YMCAの中でも唯一の『芸術文化センター』として39年の時を刻んでいます。多様にわたるクラスが展開しており、3歳児～シニアまでという幅広い年齢層の方々が参加できます。3歳から始めて成人まで続けていただけるこの事業は、まさにYMCAが担う伴走プログラムであります。イベントとしては毎年恒例となっている、音楽療育“ピッコロクラス”の、「ピッコロクリスマスコンサート」を12月8日に日本聖公会奈良基督教会のシオンホールにて実施致しました。今年も個性あふれる発表で盛り上がり、会場が一体となり楽しいひと時でした。また、12月1日と14日の2日間をわたり、“第45回音楽院コンサート”を開催致しました。



【アートアカデミー】

児童絵画教室の入会が今年は多くありました。夏に行った工作集中コースも人気で、何かを“造る”ということが今の子どもたちは好きという発見がありました。年度末の作品展は、3月21日・22日に書道・洋画・デッサン・油絵教室、3月28日・29日には児童絵画造形教室、絵画療育教室「ミネルヴァ」の作品展を、どちらも奈良市美術館にて開催致しました。大人の方の油絵や書道の作品はしっかりと落ち着いたきのある雰囲気を出し、子どもたちやミネルヴァ教室の生徒の皆様の作品は、色づかいが鮮やかでインパクトのある作品が多数並びました。

【サマースクール・ウィンタースクール・スプリングスクール】

今年度初の試みである、5日間を1日YMCAで過ごす「YMCAスクール」を各長期休暇期間に実施致しました。サマースクールやウィンタースクールでは、短期水泳とのコラボで午前中は短期水泳に参加してその後YMCAで夕方まで過ごす。といった画期的なプログラムを提供したところ、大人気でした。宿題もリーダーと一緒にやり、午後からは野外炊火や工作や実験などYMCAならではの企画をしました。また、館外から出て、遊び体験のできる施設に行ったりとタイトなスケジュールながらも5日間楽しく過ごすことができ好評となりました。



2019年度の歩み

6月3日	サマーアート受付
6月10・17・24日	奈良大学付属幼稚園バレー教室体験会
7月23日	工作①「デコレーショングラスづくり」
7月27日～28日	ポスターデザイン集中2日間 Aコース▶10:00～12:30 Bコース▶13:30～16:00
7月29日～8月2日	サマースクール(Ⅰ)
7月30日～8月2日	実用書道集中4日間
8月5日～8月9日	サマースクール(Ⅱ)
8月6日～8月7日	作文・読書感想文集中
8月8日～8月10日	これから始めるバレー3日間集中
8月10日～8月11日	工作②「やってみよう!手作りジオラマ」
7/30・8/6・20・27・9/3・10・17・24日	初心者のためのヴァイオリン8回コース
9/20・21・27・28日	油絵教室体験会(4日間のうち2回選択)
10月3日	子ども二科表彰式
10月10日	全国ポストカードデザイン大賞表彰式
12月1日	第45回奈良YMCA音楽院コンサート1日目 奈良市北部会館市民文化ホール
12月8日	ピッコロクリスマスコンサート
12月14日	第45回奈良YMCA音楽院コンサート2日目 ならまちセンター
3月21日～22日	第49回YMCA作品展
3月28日～29日	第33回ミネルヴァクラス・第48回児童絵画造形教室作品展

音楽院

内 容	参加者数	活動日
幼児・青少年音楽クラス (通年)	48名	月～日
成人音楽クラス (通年)	127名	月～日
音楽療育クラス (通年)	34名	月～土
成人講習会 (季節)	5名	7～9月の期間で全8回

アートアカデミー

内 容	参加者数	活動日
幼児・小 絵画造形クラス (通年)	26名	水・土・日
成人創作クラス (通年) 洋画・油絵・デッサン	17名	金・土・日
青少年書道クラス (通年)	19名	火・日
バレークラス (通年)	42名	月・金・日
絵画療育クラス (通年)	22名	火・土
近畿大学付属幼稚園珠算教室 (課外)	9名	火
幼児・小・中・高・成人講習会 (季節)	70名	1回 (夏期)
サマー・ウィンター・スプリングスクール (季節)	46名	年間4期

子育て支援事業 “ポップクラブ”

今年度は、22名の子どもたちの参加でした。最近では、外部より長期休暇期間のみの利用の希望もあり、受け入れることで益々活気づき、改めて社会的ニーズの高さは今もまだ継続中だと実感しました。また、若手指導員を採用しスクールの活気を狙いました。YMCAポップクラブのストロングポイントである、「併修制度」はやはり人気です。お子様をお預かりする中で、子どもたちが自主的・主体的に遊び、問題が起きれば自分たちで考えて解決するなど、社会性を養えるような言葉がけを常に心掛けています。今年度は、年下のお友だちとペアを組むなどの工夫をし、気配りなどできる子どもたちの一面が見られたことは嬉しい成長でした。



2019年度の歩み

7月24日	おでかけプログラム (大阪市立科学館)	12月18日	クリスマス会
7月30日	映画会 (YMCA館内にて)	12月28日	大掃除
8月23日	ポップ夏祭り	2月3日	節分
9月21日	お月見	2月25日～3月4日	下半年写真販売
9月24日～30日	上半期写真販売	3月7日	6年生を送る会
10月31日	ハロウィン		
11月末～12月28日	新入会面接期間		
その後の問い合わせに関しては随時面接			

内 容	参加者数	活動日
子育て支援プログラム	22名	月～金

特別支援事業 “らぼーる”

今年度 SST クラスを一つ新規開設しました。運動発達アプローチのクラスで、YMCAの特異性を生かし、身体を動かすことで社会性スキルを養っていきこうと立ち上げたところ、定員の人数が集まりました。様々なアプローチの仕方から、まずは「個人」で身体を動かすことから始め、自分は何が得意で何が苦手なのかをわかるプログラムを提供し、そこから対人で競争やグループ戦などへと変化を出していきました。また「呼吸」に注目し、継続していくことで「姿勢」に変化が出ました。子ども自身が達成感を味わうには運動が一番わかりやすいことの効果が得られました。特別プログラムは、夏と冬に宿泊を伴うキャンプを実施することができ、自然を満喫した家ではできない経験ができました。イベントとしては、「第26回奈良YMCA発達障がい理解講座」を2月に開催しました。今年のテーマは、「幼児期から低学年」に焦点をあわせ、『将

来の自立を見据え、幼少の時期から家庭・教育現場でできること』をスーパーバイザーの竹田契一先生(大阪教育大学名誉教授・大阪医科大学LDセンター顧問)と、『幼児期・低学年の子どもの見立てと具体的な手立て』をテーマに、高畑芳美先生(神戸育ちと学びの支援室TAⅡ・特別支援教育士スーパーバイザー)のお二方に講演を依頼しました。今年度は新型コロナウイルス感染症が大きな影響を与え、この講座も実施するかに迷いはありましたが、協議のうえ開催することを決意しました。当日は、受付にアルコール消毒を設置し参加者に周知しました。また、会場内は、密を防ぐためにも隣の方との間隔をできるだけとっていただくようインフォメーションもしました。この状況の中でも100名の参加者が集まりある時間となりました。

国際・語学センター

英会話クラス、中国語クラスとも、会員個々のレベルにあったクラスを開講でき、語学力の向上と、語学教育を通じた生き甲斐、やりがい作りに助力できました。ガイド養成コースでは、今年も奈良の寺社仏閣に実際に赴き、積極的なレッスンを行いました。

した。これからもYMCAの語学教育を通して、グローバルな視点で物事をとらえ、行動でき、自信とやる気に満ちた生活をおくることのできる人材の育成を目指してまいります。

2019年度の歩み

内 容	参加者数	活動日
成人英会話クラス (通年)	33名	月～土
中国語会話クラス (通年)	7名	火・木
プライベート英会話クラス (通年)	1名	月～土

児童発達支援事業 “ことりクラブ”

奈良県認可の児童発達支援事業クラブです。丸5年を終えて、奈良市内では名も通る事業所へと発展してきました。からだを充分に動かすことのできる施設であることを存分にアピールし、運動をすることで身体器官に影響と成果が出ることを指導者一同実感しました。また、身体機能に変化がでることによって、精神的にも成長が見られYMCAが願う「全人的成長」を遂げられました。さらに季節に応じた歌や製作あそびも興味を持って取り組み、苦手だったことも克服へと繋がりました。今年度の保護者からのアンケートの結果を見ても昨年同様に、「楽しく利用している」という高評価をいただきました。



2019年度の歩み

4月16日	2019年度開始
5月～7月と9月	毎週木曜日にプール活動導入
5月9日～10日	木曜日と金曜日の午後に個別療育導入
12月9日	奈良市より 事業所見学会の見学施設として選出
3月23日	2019年度終了

内 容	参加者数	活動日
児童発達支援プログラム	36名	月～金
個別療育利用者	16名	木または金(月1回)

2019年度の歩み

4月13日	土曜クラブ4月例会兼説明会
4月15日	STEPクラス開始
5月8日	LETS(水)クラス開始
5月15日	TRYクラス開始
6月30日	関西YMCA合同研修会(土佐堀)
7月5日～6日	全国YMCA発達支援事業担当社会(横浜)
7月20日	らぼーる 日高キャンプ説明会
8月1日～29日	夏期学習
8月10日～11日	らぼーる 日高キャンプ(和歌山県日高)
10月13日	3Y合同研修会(土佐堀)
12月25日～28日	冬期学習
1月25日～26日	らぼーる冬期特別プログラム ハチ高原雪遊びキャンプ
1月28日～2月21日	LETS、TRY、土曜クラブ学年末面談
2月23日	第26回発達障がい理解講座
3月11日～16日	STEP学年末面談
3月23日	らぼーるリーダー卒Y式
3月23日～4月10日	春期学習

内 容	参加者数	活動日
学習支援クラス (通年)	13名	月～土
社会性訓練野外活動クラス (通年)	7名	毎月1回・2クラス
社会性訓練クラス (通年)	7名	2クラス
発達障がい理解講座	100名	年1回



社会福祉事業



幼保連携型認定こども園 YMCAあきしの保育園

YMCA あきしの保育園の園庭は各部屋に囲まれており、すぐに園庭に出る事が出来ます。その中で幼児は3・4・5歳児でパティを組み、一緒に散歩に行ったり、触れ合い遊びをたくさんして関わりを持つ機会を持っています。また、ピンクシャツデーでは、5歳児を中心に各学年の子どもと一緒にピンクシャツ作りをしました。4歳児のお泊り保育では、絵本「エルマー」を題材に物語を進めていきました。エルマーから手紙が来たり、エルマー色のお子様ランチをみんなで作ったりして楽しみました。5歳児の六甲山キャンプでは、自然物を使ってのクラフト作りや、カヌー遊び、キャンプファイヤーと思い出に残る2日間を過ごす事が出来ました。友だちや保育教諭と一緒に虫探しをしたり、森で遊んだりたくさん自然に触れることが出来ました。3・4・5歳児の運動会では、体育や遊びの中で経験したサーキットやダンス、綱引き等を行いました。また、パティ競技では、パティと一緒に触れ合いダンスをしたり、パブリカを踊って楽しみました。夏には、夏祭りを開催し、保護者と一緒にお店巡りしたり、園庭に集まって盆踊りを踊って楽しい一時を過ごす事が出来ました。YMCAあきしの保育園では、今後も様々な活動を通してたくさんの人たちと触れ合い、自主性を大切にしながら子どもたちに寄り添い成長を見守り共に喜びあえる保育を行っていききたいと思います。

YMCAあきしの保育園 2019年度の歩み

- 4月 6日(土) 入園式
- 4月19日(金) 進級式
- 4月24日(水) 交通安全教室
- 5月17日(金) 5歳児遠足(生駒山麓公園)
- 5月24日(金) 4歳児遠足(けいはんな公園)
- 7月 5日(金)～6日(土) 4歳児お泊り保育
- 7月20日(土) 夏祭り
- 8月30日(金)～31日(土) 六甲山キャンプ
- 9月27日(金) 5歳児遠足(はぐみセンター)
- 10月 4日(金) 4歳児遠足(奈良公園)
- 10月11日(金) 3歳児遠足(鴻ノ池)
- 10月26日(土) 運動会
- 12月 4日(水) おもちゃつき
- 12月24日(火) クリスマス礼拝・祝会
- 3月17日(火) お別れ会
- 3月19日(木) 卒園式

YMCAあきしの保育園人数報告

クラス年齢	在園人数
0歳児	15名
1歳児	24名
2歳児	24名
3歳児	30名
4歳児	24名
5歳児	24名
合計	141名

YMCA西大寺南保育園

19年度は聖書の聖句「求めなさい。そうすればあたえられる。」のメッセージのように園に必要なギフトを与えてもらいました。ひとつめは、お雛様。初めてお雛様を見る子もいて、目を輝かせて喜んでいました。西大寺南保育園は小規模保育園のため、大きなお雛様を設置するのは難しい中、西大寺南保育園の規模にぴったりサイズの三段のお雛様を寄付していただくことができました。お雛様を見ながら「これは何?」「きれいだね」など子どもたちの嬉しそうなお声がたくさん聞かれました。「たのしいひなまつり」を歌い楽しく迎えることができ、感謝しています。2つめは大きな鯉のぼりを寄付していただきました。大きな鯉のぼりの中をハイハイしてトンネルのようにしてくぐってみたり、園庭に飾って大空で泳ぐ姿に見とれる姿もありました。周りの方々の温かいご支援に感謝しています。園生活の中では、2歳児は「こぐまちゃんホットケーキ」を読んでホットケーキ作り2月、3月と2回行いました。大きなホットプレートに生地を流して焼くと「いいにおい〜」と大興奮!保育者がケーキを裏返すと拍手がおこるほど盛り上がりました!!好きなトッピングをしておいしそうなおホットケーキの完成!みんな大喜びでお替りをするほどでしたよ。1歳児さんにもおすそ分けすると喜んでくれました。小さな子どもたちですが、自分たちでできることも増えて自分で「やってみたい」と挑戦することも増え、生活の中で楽しみながら達成感を感じています。これからも一人一人の成長に寄り添った保育を大切にしていきたいと思っています。

YMCA西大寺南保育園 2019年度の歩み

- 4月 6日(土) 入園式
- 5月10日(金) 交通安全教室
- 11月 1日(金) 奈良市小規模保育園交流会2歳児
- 12月 6日(金) なら保育園と合同おもちゃつき会
- 12月25日(水) クリスマス礼拝・祝会
- 3月12日(木) 2歳児お別れ遠足
- 3月17日(火) 修了式
- 3月27日(金) お別れ会

YMCA西大寺南保育園

クラス年齢	在園人数
0歳児	0名
1歳児	9名
2歳児	10名
合計	19名

YMCAなら保育園

YMCAなら保育園では、事務所と保育室が近いこともあり、子どもたちの元気な声や笑顔が傍で感じられる環境です。子どもたちや保育士同士が声をかけ合える和やかな雰囲気の中、毎日楽しく過ごしています。保育室を一步出ると、ホールが目の前ということもあり、幼児クラスの集まりの会で歌を歌う場面で乳児クラスの子どもたちも、楽しむ様子が見られました。0歳児のクラスでは部屋の前のスペースを利用してはいはいや伝い歩きをしたり、保育士の歌う歌を聞きながら歩いていました。また1、2歳児のクラスでは、ホールで動物になりきってごっこ遊びをしたり、ボールを使って箱に投げたりと体を十分に動かして楽しんでいました。幼児クラスでは子どもたちの思いや声を聞き入れ、遊びに取り組んでいます。せっけん遊びやボディペインティングなど感覚遊びを楽しんだり、野菜を育てて友達と一緒に収穫を喜んでいました。その中でも一番盛り上がり過ぎて遊んだ遊びが夏祭りごっこでした。夏にお祭りに行って楽しかったことを友達に話した事がきっかけとなり4・5歳児クラスが中心し、りんごあめやさん、チョコバナナやさんジュースやさん、金魚すくいやさんが開店しました。保育士や2歳児や3歳児と友達をお誘いして、誇らしげに「いらっしやいませ」と園全体で楽しみました。YMCAなら保育園では、様々な活動を通して子どもたち自身が「やってみたい」「おもしろそう」と感じ子ども一人一人の思いに寄り添いながら、日々の生活を笑顔で過ごし共に喜び、また相手の事を思い合える保育を今後も目指していきたいと思っています。

YMCAなら保育園 2019年度の歩み

- 4月 6日(土) 入園式
- 5月10日(金) 交通安全教室
- 5月31日(金) 4・5歳児遠足(けいはんな運動公園)
- 7月26日(金)～27日(土) お泊まり保育
- 10月 4日(金) 4・5歳児遠足(奈良公園)
- 11月 1日(金) 3歳遠足(鴻ノ池)
- 12月 6日(金) おもちゃつき
- 12月25日(水) クリスマス礼拝
- 3月12日(木) お別れ会
- 3月16日(月) 卒園式

YMCAなら保育園人数報告

クラス年齢	在園人数
0歳児	12名
1歳児	17名
2歳児	16名
3歳児	20名
4歳児	12名
5歳児	3名
合計	80名

私たちは障がいのある子どもたちを応援します。

第8回 奈良YMCAインターナショナルチャリティーラン 2019

10月27日(日)に世界遺産平宮宮跡にて『第8回奈良YMCAインターナショナルチャリティーラン 2019』を開催いたしました。この大会は1987年に日本YMCA同盟国際賛助会(FCSO)主催により東京YMCAで開催して以来、全国21箇所のYMCAでその志を共有して年間1万5千人以上のランナーの方やボランティアの皆様に参加していただいているイベントです。これまでに6億7千万円以上の寄付により全国のYMCAで展開する『子どもたちのための特別支援プログラム』に充当され、奈良YMCA開催のプログラムと合わせてわずかではありますが、奈良市心のふるさと応援寄付を通じてその支援事業へ用いていただきました。大会当日は天気も良く、参加者の方々も笑顔いっぱい、素晴らしい大会になりました。今回は、特別ランナーとして「ロンドンオリンピック4×100mリレー4位入賞の

江里口匡史さん」が、個人ランナーの部、団体宣言駅伝の部で参加者の皆様と伴走されました。また、奈良の人気キャラクターしかまろくんが声援を送るなど本当に楽しい時を過ごすことができました。今回は駅伝レースに31チームと、個人5kmマラソンの部に31名の方が、子どもたちの支援のために!を合言葉に無事完走することができました。この大会運営はワイズメンズクラブ阪和部・奈良ワイズメンズクラブの皆様をはじめ奈良YMCA職員、講師、学生ボランティアリーダーOB・OG総勢80名の献身的なお支えに奈良県、奈良市、などの行政各位と団体各位の協賛・協力により総額1,260,721円もの益金を前述の通り奈良YMCA、全国のYMCAで活動している「障がい者支援の為」の基金、また奈良市の障がい児支援などに用いさせていただきました。2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、参加者(ランナー・



運営スタッフ・ボランティアの皆さま)や公園に集う一般の方々の健康を守ることに重きを置き、大会を中止する苦渋の決断をしましたが、2021年度にはこの大会が開催でき、一人でも多くの障がいをもつ子どもたちのサポートができるよう力を込めて参ります。どうかご支援、ご協力いただけますようお願いいたします。

ピンクシャツデー

YMCAは全国各地でピンクシャツデーに取り組んでいます。今回は、YMCAとワイズメンズクラブと協働し、奈良YMCAでもピンクシャツデーの2月26日(水)～3月4日(水)を「ピンクシャツウイーク」として、奈良YMCA関係者やマスメディアを通じて「いじめのない世界をめざそう」を強く呼びかけを行いました。今回は、「奈良市・仲川げん市長」を訪ね、さらに地元放送局「ならどっとFM 78.4MHz」様の協力をいただきました。また、奈良YMCA内部ではこの期間中「ピンク色のものを身につける」、「いじめのない世界!」に思いを寄せた写真や動画を奈良YMCA Facebookに投稿など行いました。この運動がその期間だけではなく、広く世界に拡散できることを願い今後もさらに力を込めて参ります。



国際協力募金

YMCAの国際協力活動の一環として、国際理解・国際協力を促進すると同時に、突然の災害(国内外)や紛争で被害にあった被災者(国内外)・難民の方々の、健康・保育・教育の基盤整備の為に国際協力募金キャンペーンを実施し、地球上のすべての人々が国境や人種を越えて、人間らしい生活のできる平和な世界をつくることを目的とし、今年度は全国のYMCAで重要課題の一つとして取り上げている「SDGs(持続可能な開発目標)」の一環として、奈良YMCAパートナーシップ(1998年～)を締結して中国・西安YMCAが『環境保護』活動として、2009年度から永年取り組んでいる「ムース砂漠地帯」を中心とした「YMCA国際ボランティア砂漠植樹ワークキャンプ(例年7月頃)」への支援を行いました。キャンペーン期間は2019年11月1日～2020年1月31日までとし、11月10日(日)には、県下13箇所にて街頭募金を実施し、昨年を上回る協力者にご参加いただきました。(子ども146名、大人45名、合計191名)

【募金総額】 716,464円
【委託先】 (委託金額)

(公財)日本YMCA同盟国際協力募金 300,000円
台風19号・15号被災地支援募金 300,000円
(公財)奈良YMCA国際協力活動基金 116,464円
※奈良YMCA国際協力活動基金▶緊急救援(うち西安YMCA寄託金100,000円次年度寄託予定含む)・国際協力プログラム支援などに活用させていただきます。

【後援】奈良県・奈良市
【協賛団体】 明光開発(株)、三和住宅(株)、前川(株)、(株)奈良新聞社、共同精版印刷(株)、リフレ建設(株)

【協力団体】 日本聖公会奈良基督教会、親愛幼稚園、西大寺幼稚園、奈良大学附属幼稚園、白庭台幼稚園、近畿大学附属幼稚園・小学校、ファミリー歯科、込山乳業、(株)奈良新聞社、珈琲館垂那西大寺店、グリーンスポーツ (順不同・敬称略)

第4回ユースアッセンブリー・第20回 アジア太平洋YMCA大会ご報告

ユースアッセンブリー(8/31-9/2:会場オリンピック記念青少年総合センター)、日本での開催は50年ぶりとなるアジア太平洋YMCA大会(9/2-6:国際青少年センター-東山荘)で開催され、20を超える国と地域から377名(内、ユース110名)が参加、アジア太平洋地域以外の国からも“Living together Within Nature on a Path to Peace”「自然の恵みに抱かれ、平和に向かって共に生きる」をテーマに基調講演「ステイブン・リーパー氏:平和へのアクション」ワークショップでは「オルタナティブツーリズムと社会的企業」、「ジェンダーに関する正義」、「環境問題」、「災害対策」、「YMCAのより良いガバナンスの在り方」、「持続可能な開発目標」や、セッションでは「YMCA運動とキリスト教」、「ワイズメンとパートナーシップ」、「アジア太平洋YMCA同盟次期計画」、「ユースエンパワーメントと学生YMCA」そして、エクスポーチャー(フィールドトリップ)では「ふじさんぼ・キリン富士御殿場蒸留所+富士山エコパーク焼却所見学・東京YMCA山中湖センター・鶴見中央地域ケアプラザ(横浜YMCA)・YMC Aいずみ保育園(横浜YMCA)・三島スカイウォーク及び柿田川公園・富士山YMCAグローバル・エコヴィレッジ(横浜YMCA)」など、各個人で選択しながら、議論を深め、活発な意見交換、そしてなにより参加者によるパフォーマンス、文化紹介などで交流を行い「アジア太平洋地域と世界が平和になる」そんな素晴らしい大会となりました。奈良YMCAから2名(ユースリーダー:柴谷紗良さん・あつるリーダーと三枝総主事)が、参加させていただきました。



地域奉仕事業

1. YMCAポジティブネット募金
台風15号19号被災地支援募金
・11月1日～3月31日
その他各媒体を通しての復興支援や募金のキャンペーンを展開

2. 中学校職場体験

- ・6月10日～12日 (奈良市立平城東中学校)
 - ・10月24日25日28日29日30日 (奈良市立伏見中学校)
 - ・11月 6日～ 8日 (奈良市立三笠中学校)
 - ・11月 6日～ 8日 (奈良市立富雄南中学校)
- 上記4校、スイミング及びウエルネスセンターにて受付業務補助・水泳指導補助・施設管理業務補助

3. 水の安全キャンペーン

実施日 6月～8月
内容 YMCA水上安全ハンドブックを、近隣幼稚園、保育園、小学校に配布した。

4. 学校関係指導者派遣

- ・右京小学校水泳指導
- ・近畿大学附属小学校水泳指導(年1回)
- ・近畿大学附属幼稚園水泳指導(体験)
- ・親愛幼稚園体操教室(通年)
- ・近畿大学附属幼稚園サッカー教室(通年)
- ・近畿大学附属幼稚園新体操教室(通年)
- ・近畿大学附属幼稚園珠算教室(通年)
- ・近畿大学附属小学校サッカー指導(通年)
- ・白庭台幼稚園正課スポーツ教室(通年)
- ・白庭台幼稚園体操教室
- ・白庭台幼稚園サッカー教室



5. 地域推進プロジェクト

- ・囲碁・将棋クラブ
- ・ママとベビーのヨガストレッチ

6. 公開講座等

- ・2月23日 第25回発達障がい理解講座

7. 他団体協力(役員等就任等)

- ・奈良県キャンプ協会会長・理事
- ・奈良県クラブユースサッカー連盟副理事長
- ・奈良県サッカー協会3種技術委員長
- ・奈良県体操協合理事
- ・奈良県ユニセフ協会理事
- ・奈良県子ども若者支援団体協議会理事
- ・日本タスゴニー協会理事
- ・体験の風をおこそう from うた実行委員会・委員長

賛助会員 (2019年度・敬称略)

〈法人・団体賛助〉

板倉石油(株)	代表取締役	板倉 昌三
小川産業(株)	代表取締役	小川 伸江
共同精版印刷(株)	代表取締役社長	近東 宏佳
(株)甲南保険センター	代表取締役	武田 一男
三和住宅(株)	代表取締役社長	小林 正樹
奈良観光バス(株)	代表取締役社長	東田 成民
奈良交通(株)	代表取締役社長	植田 良壽
(株)奈良新聞社	代表取締役	田中 篤則
前川(株)	代表取締役社長	前川 貴洋
明光開発(株)	代表取締役社長	奥西 信夫
リフレ建設(株)	代表取締役	森口 浩一
コール・マスキール		
タリス室内オーケストラ		
奈良YMCA 善意通訳ガイド (E.G.G.)		
日本タスポニー協会		
ハート・ハース	以上 11 社・5 団体	

〈個人賛助〉

青木由紀子	久保進市	姫嶋 淳克
上田 清	古賀裕子	平山 洋子
植田 國義	嵯峨崎 順子	細山 勝道
内田 彩子	佐藤 肇子	望月 強
遠藤 徹郎	正野 忠之	山口 孜
遠藤 通寛	鉄谷 明	吉田 全孝
大谷 昌三	豊澤 安男	
大谷 美智子	服部 匡	
神谷 尚孝	濱田 清志	
神谷 一恵	林 夏代	
金 智重	人見 晃弘	以上 28 名

〈維持会員〉

市本 貴志	穴戸 良朗	林 秀彦
岩本 二三子	高岡 正明	林 成子
植田 修二	杉浦 英	平井 洋三
内田 勝久	杉浦 文子	藤井 辰男
五味 雅美	胎中 廉啓	前田 敏宏
奥村 威俊	高井 亮吉	前田 未帆
貝本 泰男	高田 嘉昭	松川 和子
片山 淳吉	高橋 文子	松田 秀美
門野 文彦	田中 幸一	水野 藤男
川合 哲郎	太村 孝江	百本 淑子
北村 高史	辻 亮	山口 ルミ
蔵之上 潔	辻野 啓一	山田 静代
栗原 宏介	徳田 健	山本 薫
黒田 幸司	中井 信一	与語 章浩
込山 博文	中野 敬一	吉岡 正昭
た々木 誠	鍋島 祥男	渡辺 新久
佐藤 公一	西口 須現	和田 啓志
佐藤 千鶴子	濱田 勉	
佐藤 由佳	林 佑幸	
汐碓 直美	林 聖子	
穴戸 秀子	林 秀一	以上 59 名

役員一覧 (2019年度・敬称略)

【奈良YMCA】

会 長	林 秀彦			
副 会 長	鍋島 祥男			
常 議 員 会				
常 議 員 会 議 長	内田 勝久			
常 議 員	林 秀彦	鍋島 祥男	徳田 健	
	濱田 勉	辻 亮	佐藤 公一	
	辻野 啓一	百本 淑子	杉浦 英	
	中井 信一	内田 勝久	高橋 文子	
	胎中 廉啓	栗原 宏介	前田 敏宏	
	北村 高史	佐藤 由佳	太村 孝江	
	三枝 隆	上地 信親		

【公益財団法人奈良YMCA】

理事会代表理事	三枝 隆			
理 事	鍋島 祥男	前田 敏宏	辻 亮	
	上地 信親	濱田 勉		
監 事	内田 勝久	佐藤 由佳		
評議員会評議員	林 秀彦	辻野 啓一	徳田 健	
	北村 高史	佐藤 公一		

【社会福祉法人奈良YMCA】

理事会理事長	濱田 勉			
副 理 事 長	三枝 隆			
常 務 理 事	金子 司			
理 事	林 秀彦	佐藤 公一	栗原 宏介	
監 事	徳田 健	内田 勝久		
評 議 員	鍋島 祥男	杉浦 英	滝口 勇	
	太村 孝江	中井 信一	林 佑幸	
	松野 五郎	上地 信親		

ボランティアリーダー・研究生

青少年センター (ボランティアリーダー)	林 美幸 石崎 桃花 高橋 舞 日端 真夢	松原 唯人 大西 航矢 笠谷 海斗	〈器械体操研究生〉 向井 知花 山本 光彩	スイミング・ウエルネス (研究生)	関古 昂輝 植田 海斗 貝吹 夏夢 三上 郁帆 上澤 芽生 米澤 奈海	らぼーる <リーダー> 飯野 文菜 丸山 恵奈 宮田 あかね
	〈サッカー研究生〉 有田 惟純 池田 拓未 野崎 詩歩 嶋田 有里 森本 真央 奥 茉莉香	〈新体操研究生〉 田中 結 畑中 里咲 滝田 雅 前川 琴風	〈バスケット研究生〉 米川 彩花	諸橋 幸輝 岡本 貴大 天野 里紗 米川 彩花 村上 志琴 久保 田 亨 松崎 美紗 宮田 あかね 北尾 昂志		

職員・スタッフ一覧

【公益財団法人奈良YMCA】

〈総主事〉 三枝 隆 〈部長〉 上地 信親 〈次長〉 村上 一志 〈課長〉 吉永 俊弘	〈講師〉 青少年センター 山梨 聖奈 倉津 宣宏 清水 拓美 江口 英汰 馬場 淑子 小倉 久美 下地 四一 山田 静代 道嶋 公子 富坂 智子 大野 由香 合田 圭子 福澤 領 白石 雅弘 今中 義弘 清水 徹 福田 安宏 土井 万寿美 市井 加奈 加藤 誠 古閑 友康 本田 佳織 小西 真衣 武田 あき 佐伯 亜耶 平尾 美智子 中村 多恵 上原 康予 南岡 幸代 今田とし子 有賀 佳子	中畑 紀子 井上 武史 スイミング・ウエルネス 野村 一穂 楠瀬 朋也 柏原 雅幸 春田 智子 池田 侑樹 松本 恵理菜 中村 多恵 上原 康予 南岡 幸代 松田 容子 服部 富美子 月森 広江 安森 まき 上山 華子 喜多 麻衣 江波 晶代 堀 貴子 松尾 葉子 中山 詩帆 福西 梢 中西佳津子 愛場和香子 山下 京子 前田香緒里 〈フロント〉 佐々木真理子 奥村起代子	飛鳥 博美 大西 功 音楽院 〈ピアノ科〉 谷口 淳子 井村 純子 松井 洋子 三好 裕子 井村 祐子 〈プレピアノ科〉 三好 裕子 〈ヴァイオリン科〉 富田 朋子 中川はるみ 崎里みずほ 松林 靖子 〈チェロ科〉 高田 能人 〈フルート科〉 桑名 明子 谷 敏子 〈オカリナ科〉 桑名 明子 〈ギター科〉 兜金 幸太	〈マンドリン科〉 桑田 隆男 〈マリンバ科〉 大西由利子 〈音楽療育教室ビッコロ科〉 和田 由美 四方 彩香 森岡有紀子 嶋倉 章子 小林 泰子 秋良 有紀 〈ヴァイオリン科〉 和田 朋美 中野 美紀 〈音楽科、いきいき童謡唱歌〉 奥野 泰子 〈チェロ科〉 高田 能人 〈フルート科〉 桑名 明子 谷 敏子 〈オカリナ科〉 桑名 明子 〈ギター科〉 兜金 幸太	〈管曲科〉 賀本 玉起 〈二胡科〉 陳 少林 〈大正琴科〉 松井 清子 有地 康子 (ギタークラブ あんだんて) 兜金 幸太 〈ケーナ科〉 松岡 尚志 アートアカデミー (児童絵画造形教室) 笹尾 愛 白川 奈央子 武内 佐季 〈絵画療育教室 ミネルヴァ科〉 笹尾 愛 白川 奈央子 坪井 裕里奈 今西 由起子 武内 佐季 岩崎 百 〈中国語会話〉 沈 健文 王 飛雪 〈ガイド養成〉 小山ヨネ子	〈洋画・日曜デッサン・油絵科〉 岡田久美子 〈書道教室〉 丸山 宏子 〈バレエ教室〉 秋内 優花 (佐々木バレエ派遣) 高坂 里絵 藤森紗也香 若狭 真理 〈近畿大学付属幼稚園 珠算教室〉 中谷 文哉 国際・語学センター 〈英会話〉 Dale Watkins Paul Hackshaw Richard Jesner Bill Wright 〈ドライバー〉 吉田 守 入江 彰二 北 博文 ことりクラブ 杉本 洋江 矢木 恵美 西澤 智子 辻本 江里子 松葉 美香 佐藤 ゆう	らぼーる <リーダー> 飯野 文菜 丸山 恵奈 宮田 あかね ポップクラブ (学生リーダー) 小西 菜月 柴谷 紗良 前川 琴風 らぼーる 福澤 領 西村 和也 川合 哲郎 田部井紀美子 前田恵美子 ポップクラブ 倉澤 恭子 細井けい子 領倉澤 宣宏 西村 和也 瀧野 尚子 佐田 順子 本田 明音 假屋 美有 〈ドライバー〉 吉田 守 入江 彰二 北 博文 ことりクラブ 杉本 洋江 矢木 恵美 西澤 智子 辻本 江里子 松葉 美香 佐藤 ゆう
--	--	---	--	--	--	--	---

サポート100 奈良YMCA賛助会員募集のご案内

皆様からのご支援によって支えられています

障がいのある子どもたちの
プログラム支援



奈良YMCAインターナショナルチャリティラン

コースリーダーの養成



全国YMCAリーダー研修会

国際・地域奉仕や緊急支援



ポジティブネットYMCA 国際協力募金活動

「公開講座」SDGs 研修会



奈良 YMCA 大会

奈良 YMCA は 1962 年の創立以来、青少年の健全育成、障がいのある子どもたちのサポートプログラム、国際理解、文化教養、様々な世代の皆さんへのウエルネスプログラム、そして、ユース世代のリーダーシップ力養成、国際・地域奉仕や緊急支援など幅広い活動を展開し、心豊かな人々が息づく地域社会づくり、そして人類が共に生きることができる平和な世界の実現のために力を注いでいます。これらの活動は Y M C A 賛助会員の皆様からのご寄付によってお支払いいただいております。今年度は「新しい奈良 YMCA の創造！」を掲げ、その実現のために「サポート 100」プロジェクトを推進し、新たな YMCA サポート 100(人・団体)を目標に展開いたします。ぜひ奈良 YMCA の活動の趣旨にご賛同いただき、少しでもこれらの活動の輪を大きく広げるため、賛助会員としてご支援下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

賛助会の種類と年会費

	個人賛助会費	法人賛助会費	団体・グループ
A	30,000 円以上	A 50,000 円以上	A 20,000 円以上
B	20,000 円以上	B 30,000 円以上	B 10,000 円以上
C	10,000 円以上	C 20,000 円以上	C 5,000 円以上
D	5,000 円以上	D 10,000 円以上	

寄附金控除・税制優遇措置のご案内

公益財団法人奈良YMCAの賛助会費は、所得税、法人税、相続税、一部の自治体の住民税において、それぞれに定められている条件を満たすことで、税制優遇措置を受けることができます。詳しくはお問い合わせください。
※なお、税額控除を受けるためには確定申告が必要です。

公益財団法人奈良YMCA 本部事務局
TEL 0742-44-2207

<https://syncable.biz/associate/naraymca/>



奈良YMCAの活動拠点



奈良 YMCA 本館

〒 631-0823 奈良市西大寺国見町 2-14-1
 青少年センター TEL (0742) 44-2207
 音楽院・アートアカデミー TEL (0742) 44-2291
 サポートプログラムらぼーる TEL (0742) 44-2291
 子育て支援ポップクラブ TEL (0742) 44-2291
 児童発達支援ことりクラブ TEL (0742) 44-2291
 国際・語学センター TEL (0742) 45-5920



奈良 YMCA 別館

YMCA 西大寺南保育園
 〒 631-0823 奈良市西大寺国見町 1-7-31
 TEL (0742) 44-2525



奈良 YMCA スイミング・ウエルネス

〒 631-0824 奈良市西大寺南町 4-10
 スイミング TEL (0742) 47-8822
 ウエルネス TEL (0742) 45-0221



幼保連携型認定こども園

YMCA あきしの保育園
 〒 631-0813 奈良市秋篠新町 338
 TEL (0742) 49-2525



YMCA なら保育園

〒 631-0824 奈良市西大寺南町 4-11
 TEL (0742) 48-2525

奈良 YMCA 活動報告書 2019 - 2020

発行年月日：2020年7月1日 印刷・製本：共同精版印刷株式会社